

第 6 編 様式編

1 被害状況の報告

1-1 被害状況即報

市 町 村			区 分		被 害	
災 害 名 ・ 報 告 番 号	災害名		第 報	田	流失・埋没	ha
	(月 日 時現在)				冠 水	ha
報 告 者 名	区 分	被 害	畑	流失・埋没	ha	
				冠 水	ha	
人 的 被 害	文 教 施 設	病 院	道 路	箇所		
				橋 り よ う	箇所	
住 家 被 害	河 川	港 湾	砂 防	箇所		
				清 掃 施 設	箇所	
全 壊	崖 崩 れ	鉄 道 不 通	被 害 船 舶 隻	箇所		
				水 道	戸	
半 壊	電 話	電 気	ガ ス	回線		
				戸		
一 部 破 損	ブ ロ ッ ク 塀 等	罹 災 世 帯 数	罹 災 者 数	戸		
				箇所		
床 上 浸 水	罹 災 世 帯 数	罹 災 者 数	火 災 発 生	世帯		
				人		
床 下 浸 水	建 物	危 険 物	そ の 他	件		
				件		
非 住 家	公 共 建 物	棟	そ の 他	件		
				棟		

区 分		被 害				
公立文教施設	千円			災 等 害 の 対 設 策 置 本 状 部 況		
農林水産業施設	千円					
公共土木施設	千円					
その他の公共施設	千円					
小 計	千円					
公共施設被害市町村数	団体			災 適 害 用 救 助 状 況		
そ の 他	農 業 被 害	千円				
	林 業 被 害	千円				
	畜 産 被 害	千円				
	水 産 被 害	千円				
	商 工 被 害	千円				
そ の 他	千円			消防職員出動延人数	人	
被 害 総 額	千円			消防団員出動延人数	人	
備 考	災害発生場所 災害発生年月日 災害の種類概況 応急対策の状況 ・消防、水防、救急・救助等消防機関の活動状況 ・避難指示等の状況 ・自主避難の状況 ・避難所の設置状況 ・他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・自衛隊の派遣要請、出動状況 ・ボランティアセンター設置状況（設置の有無及び設置場所） ・ボランティアの活動状況（受入の有無及び派遣の有無等） ・その他関連事項					

※被害額は省略することができるものとする。

1-2 災害概況即報

災害名 _____

報告日時	月 日 時 分
市 町 村	
報告者名	
電話番号	

災害の状況	発生場所		発生日時		月 日 時 分					
被害の状況	死傷者	死者	人	不明	人	住家	全壊	棟	一部破損	棟
		負傷者	人	計	人		半壊	棟	床上浸水	棟
応急対策の状況	災害対策本部等設置状況									

1-3 被害状況報告

概況	月	日	現在
中間	月	日	現在
確定	月	日	

災害の種別	
発生年月日	
発生場所	

区分				被害	区分				被害	区分				被害	対応措置等																		
人的被害	死者	1	人	文教施設	全壊	30	箇所	農林水産業施設	農地	62	千円	市の防災体制	発令	解除																			
		2	人			31	箇所			農業用施設	63				千円																		
	負傷者	重傷	3			人	その他			32	箇所				林業用施設	64	千円																
		軽傷	4			人				(計)	33				箇所	共同利用施設(農林)	65	千円															
住家	全壊	5	棟	農地被害	田	流失、埋没	34	ha	土	共同利用施設(水産)	66	千円	市の水防体制	発令	解除																		
		6	世帯			冠水	35	ha			(計)	67				千円																	
		7	人			流失、埋没	36	ha			道路	68				千円																	
	半壊	8	棟	畑	冠水	37	ha	木	橋りょう	69	千円	河川	70	千円	海岸	71	千円																
		9	世帯			畦畔	38			箇所	海		湾	72		千円																	
		10	人				一般休地			39				箇所		砂防	漁港	73	千円														
	一部破損	11	棟	農林水産業施設	農業用施設	40	箇所	設	病	院	76	千円	水道	清掃施設	一般			79	千円														
		12	世帯			林業用施設	41				箇所	その他				公	営			企	業	80	千円										
		13	人			共同利用施設(農林)	42				箇所													公共	社	81	千円						
	床上浸水	14	棟	共同利用施設(水産)	43	箇所	具	市	町	村	82	千円	(計)	83	千円																		
		15	世帯		道路	44										箇所	小	計	84	千円													
		16	人																		橋りょう	45	箇所	公共施設被害市町村数	85	団体							
	床下浸水	17	棟	河川	46	箇所	農	産	被	害	86	千円	林	産	被	害	87	千円															
		18	世帯																海岸	47	箇所	畜	産	被	害	88	千円	水	産	被	害	89	千円
		19	人																														
	罹災者	世帯	20	世帯	砂防	49	箇所	漁	港	50	箇所	の	商	工	被	害	91	千円															
		人員	21	人															病院	51	箇所	他	被	害	92	千円							
	非住家	公共建物	全壊	22	棟	衛生関係施設	水道	52	箇所	小	計	84	千円	避	発	令	難	指	示	状	等						況						
				半壊	23																	棟	清掃施設	53	箇所	農		産	被	害	86	千円	
市町村		全壊	24	棟	商工関係	54	箇所	林	産	被	害	87	千円																				
			半壊	25										棟	がけくずれ	55	箇所	畜	産	被	害	88	千円										
その他		全壊	27	棟	交通通信被害	鉄道不通	56	箇所	水	産	被	害	89	千円																			
			半壊	28											棟	船舶被害	57	箇所	商	工	被	害	90	千円									
その他		(計)	29	棟	その他	通信被害	58	回線	の	商	工	被	害	90	千円																		
																停電被害	59	軒数	そ	の	他	91	千円										
																ガス被害	60							被	害	総	額	92	千円				
文教施設		61	千円																														

報告者	課	庁内電話
-----	---	------

明細表2

被害状況報告

概況 年 月 日 時 分現在
 中間 年 月 日 時 分現在
 確定 年 月 日 時 分
 災害名

市町村名	床上浸水	床下浸水	世帯数	主たる被災地(字名)	原因
計	0	0	0		

明細表3 教育関係

被害状況報告

概況 年 月 日 時 分現在
 中間 年 月 日 時 分現在
 確定 年 月 日 時 分
 災害名

区分		市町村名			
学 校	全 壊	校数			
		学校名			
	半 壊	校数			
		学校名			
文化財 建造物	全 壊	棟数			
		名称			
	半 壊	棟数			
		名称			
臨時休校をした学校	小学 校	校数			
		学校名			
	中学 校	校数			
		学校名			
	高等 学校	校数			
		学校名			
計			0	0	0

明細表4 公共施設関係

被害状況報告
概況 年 月 日 時 分現在
中間 年 月 日 時 分現在
確定 年 月 日 時 分
災害名

市町村名	区分	県庁舎		市庁舎		公立病院		公立診療所		し尿処理施設		ごみ処理施設	
		棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額
	全壊												
	半壊												
	その他												
	名称												
	全壊												
	半壊												
	その他												
	名称												
	全壊												
	半壊												
	その他												
	名称												

明細表5 道路、河川、農林水産施設関係

被害状況報告
概況 年 月 日 時 分現在
中間 年 月 日 時 分現在
確定 年 月 日 時 分
災害名

施設名	区分	位置		種類	延長巾員	復旧金額	内応急額	堤防高	今回水位	備考
		市町村	大字							

明細表6 急傾斜地、山地関係

被害状況報告

概況 年 月 日 時 分現在
 中間 年 月 日 時 分現在
 確定 年 月 日 時 分
 災害名

区分	市町村名	区 分				備考
	地区名	延長 (m)	面積 (㎡)	住家の被害 (戸)		
	土砂くずれ地すべり等 (住家に影響のあるもの)					
	同上による人的被害及び 措置状況					

明細表7 農作物関係

被害状況報告

概況 年 月 日 時 分現在
 中間 年 月 日 時 分現在
 確定 年 月 日 時 分
 災害名

区分	市町村名					
水	冠 水	ha				
		t o n				
		千円				
	倒 伏	ha				
		t o n				
		千円				
稲	埋没・流出	ha				
		t o n				
		千円				
果	み かん	ha				
		t o n				
		千円				
	柿	ha				
		t o n				
		千円				
	桃	ha				
		t o n				
		千円				
	梅	ha				
		t o n				
		千円				
樹	そ の 他	ha				
		t o n				
		千円				
そさい	そ の 他	ha				
		t o n				
		千円				
	そ の 他					

別表 被害状況認定及び報告書記入の基準

被害の種類		報告番号	基準
人的被害	死者	1	当該災害が原因で死亡し、死体を確認したもの。又は死体を確認することができないが、死亡したことが確実なものとする。
	行方不明	2	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのあるものとする。
	重傷者	3	災害のため負傷し、医師の治療を受け、又は受ける必要のあるもののうち1月以上の治療を要する見込みのもの。
	軽傷者	4	災害のため負傷し、医師の治療を受け、又は受ける必要のあるもののうち1月未満で治療できる見込みのもの。
住家被害	住家		現実に居住のため使用している建物をいい、社会通念上の住家であるかどうかを問わない。
	世帯		生計を一にしている実際の生活単位をいう。
	住家全壊 (全壊・流失)	5~7	住家が滅失したもので、具体的には住家の損壊、若しくは流失した部分の床面積が、その住家の延べ面積の70%以上に達したもの又は住家の主要構造部の被害額が、その住家の時価の50%以上に達した程度のものとする。
	住家半壊 (半壊)	8~10	住家の損壊が甚しいが、補修すれば元通りに使用できるもので、具体的には損壊部分が、その住家の延べ面積の20%以上70%未満のもの又は住家の主要構造部の被害額がその住家の時価の20%以上50%未満のものとする。
	一部破損	11~13	全壊及び半壊にいたらない程度の住家の破損で補修を必要とする程度のものである(床上浸水及び床下浸水に該当するものを除く)。ただしガラスが数枚破損した程度のごく小さなものは除く。
	床上浸水	14~16	全壊及び半壊に該当しない場合において、住家の床より上に浸水したものと及び土砂竹木のたい積により一時的に居住することができないものとする。
	床下浸水	17~19	全壊及び半壊に該当しない場合において、床上浸水にいたらない程度に浸水したものととする。
罹災者	罹災世帯	20	災害により被害をうけ、通常の生活を維持することができなくなった生計を一にしている世帯で、全壊、半壊、床上浸水により被害を受けた世帯をいう。
	罹災人員	21	罹災世帯の構成員をいう。
非住家	非住家		住家以外の建物でこの報告中他の被害箇所項目に属さないものとする。これらの施設に人が居住しているときは、当該部分は住家とする。
	公共建物	22~26	公用又は公共の用に供する建物。
	その他	27~29	公共建物以外の倉庫、土蔵、車庫等の建物(全壊、半壊したもののみ)をいう。
文教施設	文教施設	30~33	小、中、高校、特別支援学校、幼稚園における教育の用に供する施設。全壊、半壊は、住家の全壊、半壊に準じるものとする。
農地	田畑の流失埋没	34~37	田の耕土が流失し、又は砂利等のたい積のため、耕作が不能になったものとする。畑については、田の例に準じて取り扱うものとする。
	田畑の冠水	34~37	田については、稲の先端が見えなくなる程度に水につかったものとする。畑については田の例に準じて取り扱うものとする。
	畦畔	38	田及び畑の畦畔をいう。

2 災害救助法関係様式

2-1 災害救助費概算額調

様式1

災害救助費概算額調
(災害名)

紀の川市

種目別区分			員数	単価	金額	備考
I 救助業務に要した経費				円	円	
1 救助費						
(1)	避難所設置費	避難所	延人			
		福祉避難所	延人			
		ホテル・旅館など	延人			
		計	延人			
(2)	応急仮設住宅設置費	建設型応急住宅	戸			
		借上型仮設住宅	戸			
		計	戸			
(3)	炊出しその他による食品の給与費		延人			
(4)	飲料水の供給費					
(5)	被服寝具その他生活必需品給(貸)与費	全壊(焼)流出	世帯			
		半壊(焼)・床上浸水	世帯			
		計	世帯			
(6)	医療及び助産費	医療	延人			
		助産	延人			
		計	延人			
(7)	被災者の救出費		人			
(8)	被災した住宅の応急修理費		世帯			
(9)	生業に必要な資金の貸与費		世帯			
(10)	学用品の給与費	小学校児童	教科書	人		
			文房具等	人		
		中学校生徒	教科書	人		
			文房具等	人		
		高等学校等生徒	教科書	人		
			文房具等	人		
		計	人			
(11)	埋葬費	大人	体			
		小人	体			
		計	体			
(12)	死体の搜索費		体			
(13)	死体の処理費	洗浄、縫合、消毒等	体			
		一時保存	体			
		検案	体			
		計	体			
(14)	障害物の除去費		世帯			
(15)	輸送費					
(16)	賃金職員等雇上費					
2	実費弁償費		人			
3	扶助金		件			
4	損失補償		件			
5	法第19条の補償					
II 救助事務に要した経費						
1	都道府県事務費					
2	市町村事務費					
3	法第20条第1項の求償に係る事務費					
(合計)						

2-2 災害救助基金報告書

様式2

令和〇〇年度災害救助基金報告書

紀の川市

概況	災害救助基金現在高 (令和 年 4月 1日)	A	円	備考
	当該年度における災害救助基金最少額	B	円	
	差引過△不足額	A-B=C	円	
	当該年度要積立額	D	円	
	当該年度積立予定額	E	円	
災害救助基金運用状況 (災害救助基金現在高内訳)	法第26条第1号の方法		円	
	同条第2号の方法		円	
	同条第3号の方法		円	
	計		円	
前年度決算状況	災害救助基金現在高 (令和 年 4月 1日)	F	円	
	災害救助基金最少額	G	円	
	差引過△不足額(F-G)	H	円	
	要積立額	I	円	
	積立額	J	円	
	支出額	K	円	
	応急仮設住宅払下収入金	基金繰入額	円	
		その他	円	
	生業資金返還額	基金繰入額	円	
その他		円		

(注)「前年度決算状況」の各欄のうち、額が確定していないものについては見込額とすること。

2-7 被服、寝具その他生活必需品の給与状況

様式7

被服、寝具その他生活必需品の給与状況

住家被害程度区分		世帯主 氏名	基礎とな った世帯構 成人員	給与月日	物資給与の品名			市町村名	実支出額	備考
			人	月 日				円		
計	全壊	世帯								
	半壊	世帯								

- (注) 1 住家の被害程度に、全壊(焼)流失又は半壊(焼)床上浸水の別を記入すること。
 2 受領年月日に、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月日を記入すること。
 3 「物資給与の品名」欄は、実際に給与した物品名を品名として記載し、各給与数を記入すること。
 4 「備考」欄は、別に作成する領収書等支払資料の整理番号を記載する。

2-8 救護班活動状況

様式8

救護班活動状況

救護班

班長: 医師 氏名 印

月日	市(区)町 村名	品目	措置の概要	経費 円	備考
計				円	

(注) 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

2-9 病院、診療所医療実施状況

様式9

病院、診療所医療実施状況

診療 機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病名	診療区分		診療報酬		金額	備考
				入院	通院	入院	通院		
						点	点		
計 機関	人								

(注) 「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

2-10 助産台帳

様式10

助産台帳

分べん者 氏名	分べん 日時	助産機関名	市町村名	金額	備考
			分べん期間 月 日～月 日		
				円	
計					

2-11 被災者救出状況記録簿

様式11

被災者救出状況記録簿

年月日 月 日	救出用機械器具等		市町村名	備考
	機械器具等名称	数量	金額 円	
計				

- (注) 1 備考欄には使用した機械器具の使用用途概略を記載すること。
2 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。

2-12 住宅応急修理記録簿

様式 12

住宅応急修理記録簿

整理番号	世帯主氏名	応急修理期間 月 日～ 月 日	実支出額 円	市町村名	摘要
				応急修理箇所概要	
	計 世帯				

(注)1 実施に際し、複数の業者が施工した場合にはその旨を備考欄に記入すること。

2-14 学用品の給与状況

様式14

学用品の給与状況

学校名	学年	児童(生徒)氏名	親権者氏名	給与 月日	給与品の内訳										市町 村名	実支 出額	備考
					教科書					その他学用品							
					国語	算数	理科	社会	その他	鉛筆	ノート	絵の具 セット	習字 セット	その他			
小学校		人															
中学校		人															
高校		人															

- (注) 1 当該様式は、小学校、中学校、高等学校等教育機関の別に作成すること。
 2 支給する学用品の品目については、教科書、文房具、通学用品、その他の学用品の範囲で個々の実情に応じて給与するものである。
 3 給与月日欄は、その児童(生徒)に対して最後に給与した給与年月日を記入する。
 4 給与品の内訳欄には、数量を記入し、備考欄には別に作成する領収書等支払資料の整理番号を記載する。

2-16 死体処理台帳

様式16

死体処理台帳

処理 年月日	死体発見 の日時 及び場所	死亡者 氏名	遺族		洗浄等の処理			死体の 一時保存	市町村名		
			氏名	死亡者 との関係	品名	数量	金額		検案料	実支出額	備考
							円	円	円	円	
計		人									

2-17 障害物除去の状況

様式17

障害物除去の状況

整理番号	住家被害程度区分	除去に要した期間 月 日～ 月 日	市町村名	除去に要すべき状態の概要	備考
			実支出額 円		
計	半壊(焼)	世帯			
	床上浸水	世帯			

(注)1 除去に際し、複数の業者が施工した場合はその旨を備考欄に記入すること。

2-18 輸送記録簿

様式18

輸送記録簿

輸送 月日	目的	輸送 区間 (距離)	借上等			修繕					市町村名		
			使用車両等		金額	故障車両等		修繕 月日	修繕 費	故障の 概要	燃料費	実支 出額	備考
			種類	台数		名称番号	所有者氏名						
月 日					円					円		円	
計													

- (注)1 「目的」欄は主たる目的(又は救助の種類名)を記入すること。
 2 県又は市町の車両による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
 3 借上車両等による場合は、有償無償を問わず記入すること。
 4 借上等に「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

2-19 実費弁償

様式19

(1) 令第4条第1号から第4号までに規定する者の従事状況

職種	従業員数		従事場所 (市町村)	従事期 間	実支出額				市町村名	算定基準 による 算定額	備考
	実人員	延人員			日当	旅費	時間外 勤務手 当	計			
医師及び歯科 医師	人	人			円	円	円	円	円		
薬剤師											
保健師・助産 師・看護師											
土木技術者											
建築技術者											
大工左官及び とび職											
計											

(注) 「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

様式20

(2) 令第4条第5号から第10号までに規定する者の従事状況

業者		従事者		従事場所(市町村)	従事期間	実支出額 円	備考
業種	数	実人員 人	延人員 人				
土木建築業者							
地方鉄道業者							
軌道経営者							
自動車 運送事業者							
船舶運送業者							
港湾運送業者							
計							

(注) 「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

様式22

(4) 損失補償費の状況

種類	実支出額	積算基礎	備考
計			

- (注) 1 「種類」欄には、法第26条の管理、使用、保管および収容の別に区分して記入すること。
2 「基礎積算」欄には、損失補償の額の積算基礎を記入すること。
3 「備考」欄には、損失補償の概要を記入すること。

様式23

法第19条の補償費の状況

区 分	実 支 出 額			備 考
	員 数	単 価	金 額	
1 人件費		円	円	
(1) 旅費				
(2) 役務費				
(3) 時間外勤務手当 及び深夜手当				
2 救護所設置費				
(1) 救護器材費				
(2) 消耗器材費				
(3) 借上料損料				
3 救護諸費				
(1) 薬剤				
(2) 治療材料				
(3) 医療器具破損料				
(4) 衛生材料				
(5) 死体の処理費				
(6) その他				
4 輸送費				
5 賃金職員等雇上費				
6 その他の費用				
7 扶助金				
(1) 療養扶助金				
(2) 休業扶助金				
(3) 障害扶助金				
(4) 遺族扶助金				
(5) 葬祭扶助金				
(6) 打切扶助金				
8 事務費				
(1) 消耗品費				
(2) 通信運搬費				
(3) その他				
計				

(注) 「区分」の欄には、適宜必要な欄を設けて費目別に記入すること。

災害救助法第19条 都道府県等は、その都道府県知事等が第16条の規定により委託した事項を実施するため、日本赤十字社が支弁した費用に対し、その費用のための寄附金その他の収入を控除した額を補償する。

3 避難所の運営

3-1 避難者名簿

避難者名簿

避難所名					居住グループ					
①	入所日時	年 月 日 時 分			要配慮区分※	職業	住 所			
	ふりがな									
	代表者氏名									
②	家 族 構 成	ふりがな 氏 名	年 齢	性 別	避 難 状 況 ※	※ 要 配 慮 区 分	職 業	電 話	()	
								携 帯 電 話	()	
									所 属 会 自 治 会	
									家 の 被 害 状 況	全壊・半壊・一部破損 停電・ガス停止・断水 電話不通
									親 族 等 連 絡 先	住所 氏名 電話 ()
									車 (使用者のみ)	車種 色 ナンバー
									ペ ー ト	有 (種類) 無
※ 注 意 点	<<注意>>避難した人だけを書いてください。									
	避難状況 ア. 避難所 イ. テント ウ. 車 エ. 在宅避難者 オ. 帰宅困難者 カ. その他 要配慮区分 1. 要介護 2. 視覚障害 3. 聴覚障害 4. 言語障害 5. 肢体不自由 6. 内部障害 7. 知的障害 8. 精神障害 9. 発達障害 10. 認知症 11. 乳幼児 12. 妊産婦 13. 難病 14. 傷病 15. 外国人 16. アレルギー 17. その他 () 備考 (特に配慮が必要なこと)									
③	個人情報の 取り扱い	ご家族の方々等に安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を避難者名簿等で公表し、また、他からの問い合わせに回答する予定ですが、希望しない場合は、右の欄を「○」で囲んでください。						希望しない		

- 活動班編成時の参考としますので、過去の職業も含め、できる限り記入をお願いします。
- 避難者名簿の掲示・公開に同意されない場合でも、親類縁者の方から個別の安否確認の問い合わせには応じる場合があります。
- 配偶者からの暴力、ストーカー行為、児童虐待等により個別の安否確認の問い合わせに応じることに不都合がある方はその旨記載してください。
- 自分で記入できない方は、聞き取りますので、お申し出ください。

退所年月日	年 月 日		
退 出 先	住所：		
連 絡 先	電話番号：	()	携帯番号：
備 考			

避難者名簿（在宅避難者・車中泊用）

①	記入年月日	年 月 日 時 分				要配慮 区分※	職 業	住 所				
	ふりがな											
	代表者氏名											
②	家 族 構 成	ふりがな	年 齢	性 別	避 難 状 況 ※	※ 要 配 慮 区 分	職 業	電 話	()			
		氏 名						携 帯 電 話	()			
								所 属 自 治 会				
								家 の 被 害 状 況	全壊・半壊・一部破損 停電・ガス停止・断水 電話不通			
								親 族 等 先 連 絡	住所 氏名 電話 ()			
								車 (使用者のみ)	車種 色 ナンバー			
								ペット	有(種類) 無			
		<<注意>>避難した人だけを書いてください。										
		※ 注 意 点 避難状況 ア. 避難所 イ. テント ウ. 車 エ. 在宅避難者 オ. 帰宅困難者 カ. その他 要配慮区分 1. 要介護 2. 視覚障害 3. 聴覚障害 4. 言語障害 5. 肢体不自由 6. 内部障害 7. 知的障害 8. 精神障害 9. 発達障害 10. 認知症 11. 乳幼児 12. 妊産婦 13. 難病 14. 傷病 15. 外国人 16. アレルギー 17. その他 () 備考 (特に配慮が必要なこと)										
③	個人情報の 取り扱い	ご家族の方々等に安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を避難者名簿等で公表し、また、他からの問い合わせに回答する予定ですが、希望しない場合は、右の欄を「○」で囲んでください。						希望しない				
【車中泊の場合記入】 車中泊場所（必要に応じて地図を記載）												

※1 避難者名簿の掲示・公開に同意されない場合でも、親類縁者の方からの個別の安否確認の問い合わせには応じる場合があります。

※2 配偶者からの暴力、ストーカー行為、児童虐待等の事情により個別の安否確認の問い合わせに応じることに不都合がある方はその旨記載してください。

3-2 避難所収容日誌

避難所

責任者認印	月日	収容人員	物品使用状況		記事	備考
			品名	数量		
計						

- 1 「収容人員」の欄は、当日の最多人員数を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」の欄に記入すること。
- 2 「物品使用状況」の欄は、開設期間中に使用した品目別使用数量を記入すること。
- 3 他の市町村の住民を収容したときは、その住所氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

4 食糧の調達・供給

4-1 炊出し受給者名簿

炊出し場

世帯主 氏名	家族 数	月 日			7 日 間 小 計			8 日 目 以 降 小 計			合 計	実 支 出 額	備 考
		朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕			
計													

1 「備考」欄には、給食内容を記入すること。

4-2 食糧品現品給与簿

給与 年月日	給与 人員	食数	給与物品内訳			受領書				
			米	パン	缶詰	住所	世帯主	家族数	受領印	避難先 住所氏名

4-3 炊出しその他による食品給与物品受払簿

品名	単位・呼称						
年月日	摘要	受	払	残	購入単価	購入金額	備考
計							

- 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出先を記入すること。
- 2 最終行欄には、受払残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

4-4 炊出し用物品借用簿

品名	数量	期間	金額	所有者氏名	使用避難所名	備考

1 「期間」欄には、(月 日から 月 日まで 日間) と記入する。

5 自衛隊の派遣依頼

5-1 部隊等の派遣依頼書

第 号
年 月 日

和歌山県知事 殿

紀の川市長

部隊等の派遣依頼書

災害対策基本法第68条の2の規定により、部隊等の災害派遣を依頼します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を依頼する理由

- 2 派遣を希望する期間

- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
 - (1) 区域

 - (2) 活動内容

- 4 その他

5-2 部隊等の撤収依頼書

第 号
年 月 日

和歌山県知事 殿

紀の川市長

部隊等の撤収依頼書

○年○月○日災害派遣を受けた部隊等の撤収を下記のとおり依頼いたします。

記

- 1 撤収日付
- 2 撤収を依頼する理由

6 林野火災時の応援要請

6-1 林野火災用空中消火資機材借受申請書

第 号
年 月 日

和歌山県知事

殿

紀の川市長

林野火災用空中消火資機材借受申請書

和歌山県林野火災用空中消火資機材運用要綱第5条の規定により下記のとおり資機材を借り受けたいので申請します。

記

- 1 資機材借受けの目的
- 2 借受け希望資機材の種類及び数量
- 3 借受け希望期間
- 4 引渡し希望日時及び場所

6-2 林野火災用空中消火資機材使用報告書

第 号
年 月 日

和歌山県知事

殿

紀の川市長

林野火災用空中消火資機材使用報告書

年 月 日付け 消第 号により貸付け決定を受けた資機材の使用状況等について和歌山県林野火災用空中消火資機材運用要綱第11条の規定により下記のとおりですので報告いたします。

記

1 資機材の使用状況

2 その他

- (1) 火災発生日時
- (2) 火災発生場所
- (3) 鎮火日時
- (4) 出火原因
- (5) 被害状況
- (6) 消火活動状況
- (7) その他参考事項

7 ヘリコプターの運航要請

7-1 防災ヘリコプター緊急運航要請書 防災ヘリコプター緊急運航要請書

受信時間		時		分		現在	
1 要請機関名	TEL			発信者			
2 災害の種別	(1) 救急 (2) 救助 (3) 災害応急(調査・広報) (4) 火災防御 (5) その他						
3 活動内容	調査	広報	撮影	傷病者搬送	空中消火	救急	救助
	輸送 (品名数量))		その他 ()	
4 発生場所 及び 発生時間	市町村			地内			
	(発生時間)	年	月	日	時	分	
	(目標)						
	(離着陸場所)						
5 現地の気象 条件	天候	風向	風速	気温			
	視程	m	気象予警報 (警報・注意報)			
6 現場指揮者	所属・職名・氏名						
7 現場との 連絡手段	無線種別 (主運用波 4 c h、統制波 1・2・3) 現場指揮本部 (車) 呼出名称 (コールサイン)						
8 要請を必要とする理由	<p>※ 災害の状況、要請する活動内容、受け入れ体制を記入すること (救助の場合には、事故の原因、事故の状況、人数等も記入のこと)</p>						
目 標	<p>別添地図のとおり ※目標が明確となる大きめの図面を添付のうえ、住宅地図のページ数を明記のこと</p>						

和歌山県防災航空センター TEL 0739-45-8211
FAX 0739-45-8213

9	傷病者	フリガナ		年齢	歳	性別	男・女	
		氏名						
	症状							
	離着場所の 目標等	出場先の 所在地 及び目標		搬送先の 所在地 及び目標				
	搭乗者	医師の氏名		関係者の 氏名				
		看護師の氏名						
	病院への搬送方法	救急車の手配	有・無	病院の手配	有・無			
	受入病院	所在地 名称		連絡先	TEL			
搬送先の消防本部の担当者職氏名		消防本部 課 TEL						
10 必要資機材								
11 他航空機への要請	有・無	(有の場合) 機関名	要請機数	機				
12 その他必要事項								

※ 以下の項目は、防災航空隊で出場の可否を決定の後、連絡します。

1 使用無線等	無線種別 (全国波、県波) 現場指揮本部 (車) 呼出名 (コールサイン)
2 到着予定時間	年 月 日 (曜日) 時 分
3 活動予定時間	時間 分
4 燃料の確保	要手配 ・ 手配不要 ℓ (ドラム缶 本)

受信者	和歌山県防災航空隊
-----	-----------

7-2 災害速報

災 害 速 報 (緊急運航第 号)

災害活動種別	1 救急	2 救助	3 災害応急(調査・広報)	4 火災防御	5 その他
要請機関名					
発生場所					
発生日時	年 月 日 () 時 分 頃				
要請日時	年 月 日 () 時 分			要請方法	電話及びFAX
事故概要					
要救助者(内訳)	死者(性別・年齢)	傷 病 者	重	症	名
	名		中	等	症
	行方不明者	名	軽	症	名
			そ	の	他
			名		
要救助者数	計 0 名				
活動の状況					
要救助者の住所・氏名等及び参考事項					
報告者氏名			活動従事者		

7-3 災害状況報告書

災 害 状 況 報 告 書

要請機関名			
要請活動種別	(1) 救急 (2) 救助 (3) 災害応急(調査・広報) (4) 火災防御 (5) その他		
発生場所			
発生日時	年 月 日 () 時 分 頃		
要請日時	年 月 日 () 時 分	要請方法	
事故概要			
災害発生場所の天候	天候_____ 風向_____m 視程_____ 気温_____℃ 注意報等_____ 発令中		
死傷者等	死者(性別・年齢) 計 名	負傷者等 うち重傷 軽傷	名 名 名
	行方不明 名		
要救護者数		救助人員	名
活動の状況			
その他参考事項			
報告者氏名			

8 義援金・救済物資の受付

8-1 義援金受付簿

No.	受領日	住所	金額(円)	備考
	入金日	氏名		
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			

8-2 救援物資受付簿

No.	受領日	住所		物資名	数量	備考
		氏	名			
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					

8-3 受領書

(義援金)

受 領 書		
様		
金		円也
ただし、義援金として上記正に受領いたしました。		
年 月 日		
		紀 の 川 市 長 印

(救援物資)

受 領 書		
様		
物資名及び数量		
ただし、救援物資として上記正に受領いたしました。		
年 月 日		
		紀 の 川 市 長 印

9 保健衛生

9-1 災害時における保健活動日報

避難所日報(避難者状況)		避難所名	避難所コード								
活動日	年 月 日	記載者(所属・職名・職種)									
◆配慮を要する者◆											
		人数	うち要継続支援人数			人数	うち要継続支援人数			人数	うち要継続支援人数
高齢者(65歳以上)		人	人	障害者		人	人	服薬者		人	人
うち75歳以上		人	人	身体障害者		人	人	降圧薬		人	人
要介護認定者		人	人	知的障害者		人	人	糖尿病薬		人	人
妊婦		人	人	精神障害者		人	人	向精神薬		人	人
じよく婦		人	人	難病患者		人	人	他の治療薬		人	人
乳児		人	人	在宅酸素療法・呼吸器療法		人	人	その他		人	人
幼児・児童		人	人	透析(腹膜透析含む)		人	人	要継続支援合計 人数(実人数)		人	
うち障害児・医療的ケア児		人	人	アレルギー疾患		人	人				
特記事項											
◆対応すべきニーズがある者◆ *まだ解決しておらず、速やかに対応しなければならないニーズがある避難者数を記載する。											
		該当		特記事項(→左の欄のその内容、アセスメント等記載)							
医療ニーズのある者		□無・□有 () 人									
うち医薬品がない者		□無・□有 () 人									
保健福祉ニーズのある者		□無・□有 () 人									
高齢者		□無・□有 () 人									
障害者・児		□無・□有 () 人									
その他		□無・□有 () 人									
こころのケアが必要な者		□無・□有 () 人									
◆感染症・食中毒等症状がある者◆											
		該当		特記事項(→左の欄のその内容、アセスメント等記載)							
総数(実人数)		□無・□有 () 人									
発熱		□無・□有 () 人									
咳・痰		□無・□有 () 人									
下痢・嘔吐		□無・□有 () 人									
対応内容・結果											
課題/申し送り											
(2020年版)		写真送信の場合は再度記載→		避難所コード							

10-2 罹災証明書

様式第3号（第4条関係）

第 号

罹災証明書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏名	続柄	生年月日
罹災原因	年 月 日の による		
被災住家の所在地			
住家の被害の程度			
浸水区分			

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

備考	
----	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

紀の川市長

11 水防

11-1 紀の川洪水予報発表文例

正規

きのかわ 紀の川氾濫危険情報 (警戒レベル4相当情報)

紀の川洪水予報 第〇号
洪水警報 (発表)
令和〇〇年〇月〇日 〇〇時〇〇分
わかやまかせんこくどうじむしょ ならちほうきしやうだい わかやまちほうきしやうだい
和歌山河川国道事務所 奈良地方気象台 和歌山地方気象台 共同発表

(見出し)

きのかわ
紀の川では、氾濫危険水位に到達し、氾濫のおそれあり

(主文)

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。きのかわ ぎじょう
紀の川の五條基準観測所
(五條市)では、「氾濫危険水位」に到達しました。紀の川では堤防決壊等による氾濫
の恐れがあり、五條市、橋本市、伊都郡九度山町、伊都郡かつらぎ町では浸水するお
それがあります。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を
図るなど、適切な防災行動をとってください。

【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。きのかわ みに
紀の川の三谷基準観測
所(伊都郡かつらぎ町)では、当分の間、「避難判断水位」付近の水位が続く見込みで
す。引き続き、市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をと
ってください。

【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。きのかわ ふなど
紀の川の船戸基準観測
所(岩出市)では、当分の間、「避難判断水位」付近の水位が続く見込みです。引き続
き、市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってくださ
い。

(警戒レベル相当情報早見表)

紀の川氾濫危険情報 (警戒レベル4相当情報)			
新着・更新 基準観測所 対象河川	新着 五條 紀の川	新着 三谷 紀の川	新着 船戸 紀の川
新着・更新	警戒レベル()相当	4	3
	現況水位	3 レベル3水位超過	3 レベル3水位超過
	予測水位	4 3時間後までに氾濫発生のおそれ	
新着	五條市	4	-
新着	橋本市	4	-
新着	伊都郡九度山町	4	-

紀の川氾濫危険情報（警戒レベル4相当情報）			
新着・更新	新着	新着	新着
基準観測所	五條	三谷	船戸
対象河川	紀の川	紀の川	紀の川
新着	伊都郡かつらぎ町	4	3
新着	紀の川市	-	3
新着	和歌山市	-	3
新着	岩出市	-	3

市区町村ごとの警戒レベル相当の数値は、同一洪水予報区間の基準水位観測所の受け持ち区間ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。

警戒レベル相当早見表の見方について
[防災用語ウェブサイト：早見表]
<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=hayamihyo>

5	警戒レベル5相当
4	警戒レベル4相当
3	警戒レベル3相当
2	警戒レベル2相当
	警戒レベル2未満

（雨量）

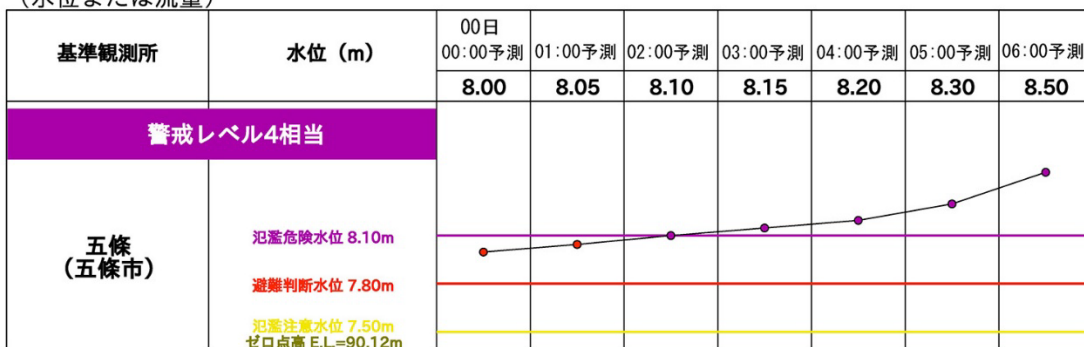
多いところでは1時間に00ミリの雨が降っています。
この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量の見込み
五條流域	000ミリ	000ミリ

流域	200日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量の見込み
三谷流域	000ミリ	000ミリ

流域	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量の見込み
船戸流域	000ミリ	000ミリ

（水位または流量）



基準観測所	水位 (m)	00日						
		00:00予測	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測	06:00予測
		4.70	4.71	4.71	4.72	4.73	4.74	4.75
警戒レベル3相当								
三谷 (伊都郡かつらぎ町)	氾濫危険水位 4.80m 避難判断水位 4.60m							
	氾濫注意水位 3.50m ゼロ点高 E.L.=54.19m							

基準観測所	水位 (m)	00日						
		00:00予測	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測	06:00予測
		6.90	6.91	6.92	6.92	6.93	6.94	6.95
警戒レベル3相当								
船戸 (岩出市)	氾濫危険水位 7.00m 避難判断水位 6.80m							
	氾濫注意水位 5.00m ゼロ点高 E.L.=10.37m							

・ゼロ点高に関する解説
https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/kwb_apend/html/reference.html

(参考)
(受け持ち区間)

基準観測所	五條 基準観測所	三谷 基準観測所	船戸 基準観測所
	五條市	伊都郡かつらぎ町	岩出市
受け持ち区間	紀の川 左岸 柴山寺橋(奈良県五條市) から和歌山県伊都郡九度山町・同かつらぎ町境 右岸 柴山寺橋(奈良県五條市) から和歌山県橋本市・同伊都郡かつらぎ町境	紀の川 左岸 和歌山県伊都郡九度山町・同かつらぎ町境から貴志川合流点(和歌山県紀の川市) 右岸 和歌山県橋本市・同伊都郡かつらぎ町境から和歌山県紀の川市・同岩出市境	紀の川 左岸 貴志川合流点(和歌山県岩出市) から海まで 右岸 和歌山県紀の川市・同岩出市境から海まで

□雨の情報を知りたい方はこちら

今後の雨 (解析雨量・降水短時間予報)	https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/#zoom:8/lat:34.294444/lon:135.523333/colordepth:normal/elements:slmcs&slmcs_fcst&rasrf
---------------------	---

□洪水予報文、川の水位を確認したい方はこちら

川の防災情報 洪水予報画面	https://www.river.go.jp/kawabou/pc/rw?rwtype=10&rwcd=8606600100
---------------	---

□河川の氾濫危険度を知りたい方はこちら

水害リスクライン	https://frl.river.go.jp/TopViewMain?header&areacd=86
----------	---

□氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら

浸水ナビ	https://sui boumap.gsi.go.jp/ShinsuiMap/Map/?x=135.523333&y=34.2944444&z=13
------	---



今後の雨 (解析雨量・降水短時間予報)



川の防災情報 洪水予報画面



水害リスクライン



浸水ナビ

問い合わせ先
 水位関係：国土交通省 和歌山河川国道事務所 流域治水課電話：073-424-2471
 気象関係：気象庁大阪管区気象台気象防災部予報課電話：06-6949-1300

正規

きのかわ
紀の川氾濫警戒情報
(警戒レベル3相当情報)

紀の川洪水予報 第○号
洪水警戒報 (発表)
令和○年○月○日 ○○時○○分
わかやまかせんこくどうじむしょ ならちほうきしやうだい わかやまちほうきしやうだい
和歌山河川国道事務所 奈良地方気象台 和歌山地方気象台 共同発表

(見出し)

きのかわ
紀の川では、避難判断水位に到達し、今後、氾濫危険水位に到達する見込み

(主文)

【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。きのかわ ごとし
紀の川の五條基準観測所(五條市)では、「避難判断水位」に到達しました。今後、水位はさらに上昇する見込みです。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってください。

【警戒レベル2相当】きのかわ みたに いとぐんかつらぎちやう
紀の川の三谷基準観測所(伊都郡かつらぎ町)では、「避難判断水位」に到達しましたが、今後、水位は上昇しない見込みです。引き続き、洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】きのかわ ふなと いわでし
紀の川の船戸基準観測所(岩出市)では、「避難判断水位」に到達しましたが、今後、水位は上昇しない見込みです。引き続き、洪水に関する情報に注意してください。

(警戒レベル相当情報早見表)

紀の川氾濫警戒情報 (警戒レベル3相当情報)			
新着・更新 基準観測所	新着 五條	新着 三谷	新着 船戸
対象河川	紀の川	紀の川	紀の川
新着・更新	警戒レベル()相当	3	2
	現況水位	2 レベル2水位超過	2 レベル2水位超過
	予測水位	4 3時間後までに氾濫発生のおそれ	
新着	五條市	3	-
新着	橋本市	3	-
新着	伊都郡九度山町	3	-
新着	伊都郡かつらぎ町	3	2
新着	紀の川市	-	2
新着	和歌山市	-	2

紀の川氾濫警戒情報（警戒レベル3相当情報）			
新着・更新	新着	新着	新着
基準観測所	五條	三谷	船戸
対象河川	紀の川	紀の川	紀の川
新着	岩出市	-	2

市区町村ごとの警戒レベル相当の数値は、同一洪水予報区
間内の基準水位観測所の受け持ち区間ごとの警戒レベル相
当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定され
る地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているも
のです。

5	警戒レベル5相当
4	警戒レベル4相当
3	警戒レベル3相当
2	警戒レベル2相当
	警戒レベル2未満

警戒レベル相当早見表の見方について
[防災用語ウェブサイト：早見表]
<https://www.river.go.jp/kwabou/glossary/pc/term?key=hayamihyo>

（雨量）

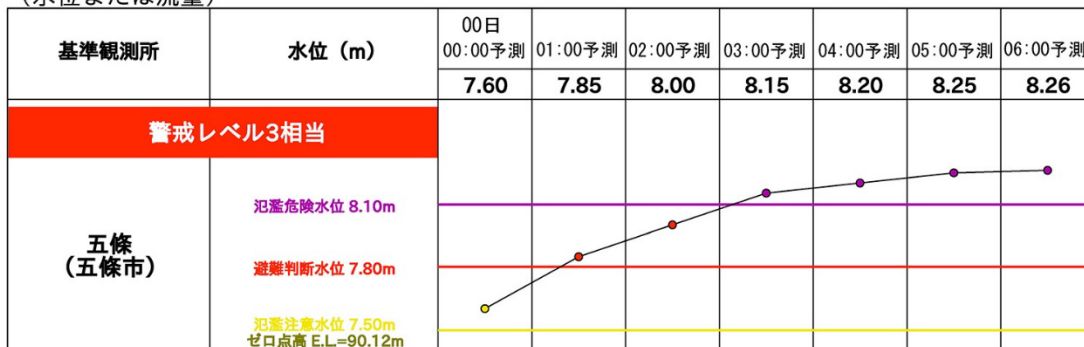
多いところでは1時間に00ミリの雨が降っています。
この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	00日00時00分～00日00時00分ま での流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分ま での流域平均雨量の見込み
五條流域	000ミリ	000ミリ

流域	00日00時00分～00日00時00分ま での流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分ま での流域平均雨量の見込み
三谷流域	000ミリ	000ミリ

流域	00日00時00分～00日00時00分ま での流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分ま での流域平均雨量の見込み
船戸流域	000ミリ	000ミリ

（水位または流量）



基準観測所	水位 (m)	00日	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測	06:00予測
		00:00予測						
		3.70	3.80	3.90	4.10	4.20	4.30	4.50
警戒レベル2相当								
三谷 (伊都郡かつらぎ町)	氾濫危険水位 4.80m 避難判断水位 4.60m 氾濫注意水位 3.50m ゼロ点高 E.L.=54.19m							
基準観測所	水位 (m)	00日	01:00予測	02:00予測	03:00予測	04:00予測	05:00予測	06:00予測
		00:00予測						
		5.10	5.30	5.40	5.60	6.00	6.30	6.60
警戒レベル2相当								
船戸 (岩出市)	氾濫危険水位 7.00m 避難判断水位 6.80m 氾濫注意水位 5.00m ゼロ点高 E.L.=10.37m							

・ゼロ点高に関する解説
https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/kwb_apend/html/reference.html

(参考)
(受け持ち区間)

基準観測所	五條 基準観測所	三谷 基準観測所	船戸 基準観測所
	五條市	伊都郡かつらぎ町	岩出市
受け持ち区間	紀の川 左岸 栄山寺橋(奈良県五條市)から和歌山県伊都郡九度山町・同かつらぎ町境 右岸 栄山寺橋(奈良県五條市)から和歌山県橋本市・同伊都郡かつらぎ町境	紀の川 左岸 和歌山県伊都郡九度山町・同かつらぎ町境から貴志川合流点(和歌山県紀の川市) 右岸 和歌山県橋本市・同伊都郡かつらぎ町境から和歌山県紀の川市・同岩出市境	紀の川 左岸 貴志川合流点(和歌山県岩出市)から海まで 右岸 和歌山県紀の川市・同岩出市境から海まで

□雨の情報を知りたい方はこちら

今後の雨(解析雨量・降水短時間予報)	https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/#zoom:8/lat:34.294444/lon:135.5233333/colordepth:normal/elements:slmcs&slmcs_fcst&rasrf
--------------------	---

□洪水予報文、川の水位を確認したい方はこちら

川の防災情報 洪水予報画面	https://www.river.go.jp/kawabou/pc/rw?rwtype=10&rwcd=8606600100
---------------	---

□河川の氾濫危険度を知りたい方はこちら

水害リスクライン	https://frl.river.go.jp/TopViewMain?header&areacd=86
----------	---

□氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら

浸水ナビ	https://sui boumap.gsi.go.jp/ShinsuiMap/Map/?x=135.5233333&y=34.2944444&z=13
------	---



今後の雨(解析雨量・降水短時間予報)



川の防災情報 洪水予報画面



水害リスクライン



浸水ナビ

問い合わせ先
 水位関係：国土交通省 和歌山河川国道事務所 流域治水課電話：073-424-2471
 気象関係：気象庁大阪管区気象台気象防災部予報課電話：06-6949-1300

11-2 紀の川水防警報発表文例

正規

水防警報（準備）

令和00年00月00日 00時00分
国土交通省 和歌山河川国道事務所発表
(第0号)

(見出し)

貴志川の貴志基準観測所 水防機関準備

(現況)

貴志川の貴志基準観測所（紀の川市）の水位は、00日00時00分
現在〇〇mです。

(発表)

水防機関は準備してください。

(水防警報発表状況)

和歌山河川国道事務所水防警報発表状況					
新着・更新	新着・更新		新着		
	基準観測所	三谷	貴志	船戸	五條
	対象河川	紀の川	貴志川	紀の川	紀の川
	水防警報発表状況		準備		
新着	紀の川市		準備	-	-
	伊都郡かつらぎ町		-	-	-
新着	和歌山市	-	-	-	-
新着	岩出市	-	-	-	-
	五條市	-	-	-	-
	橋本市	-	-	-	-
	伊都郡九度山町	-	-	-	-

(参考)

貴志 貴志基準観測所（紀の川市）

（受け持ち区間は 貴志川左岸：和歌山県紀の川市貴志川町神戸地先から紀の川との合流点（貴志川左岸5.4kから合流点まで）、右岸：和歌山県紀の川市貴志川町井ノ口地先から紀の川との合流点（貴志川右岸5.4kから合流点まで）

□水防警報に関する川の水位を確認したい方はこちら

川の防災情報 水防警報画面	https://www.river.go.jp/kawabou/pc/rw?rwtype=20&rwcd=2208700009&fid=1
---------------	---

□河川の氾濫危険度を知りたい方はこちら

水害リスクライン	https://frl.river.go.jp/TopViewMain?header&areacd=86
----------	---

□氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら

浸水ナビ	https://suiboumap.gsi.go.jp/ShinsuiMap/Map/?x=135.326667&y=34.2180556&z=13
------	---



川の防災情報 水防警報画面



水害リスクライン



浸水ナビ

問い合わせ先
国土交通省 和歌山河川国道事務所 流域治水課 電話：073-424-2471

11-3 水位周知河川の水位情報発表文例

正規

きしがわ 貴志川氾濫警戒情報 (警戒レベル3相当情報)

令和00年00月00日 00時00分
国土交通省 和歌山河川国道事務所 発
表(第0号)

(主文)

【警戒レベル3相当情報[洪水]】これは、高齢者等避難の発令の目安です。貴志川の貴志基準観測所(紀の川市)では、00日00時00分頃に、避難判断水位(5.50m)に到達しました。

市区町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。

(警戒レベル相当情報早見表)

貴志川氾濫警戒情報(警戒レベル3相当情報)		
新着・更新		更新
基準観測所		貴志
対象河川		貴志川
新着・更新	警戒レベル()相当	3
	現況水位	(3 レベル3水位超過)
更新	紀の川市	3

市区町村ごとの警戒レベル相当の数値は基準水位観測所ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。

警戒レベル相当早見表の見方について
[防災用語ウェブサイト:早見表]
<https://www.river.go.jp/kwabou/glossary/pc/term?key=hayamihyo>

5	警戒レベル5相当
4	警戒レベル4相当
3	警戒レベル3相当
2	警戒レベル2相当
	警戒レベル2未満

(参考)

貴志川 貴志基準観測所(紀の川市)

(受け持ち区間は 貴志川左岸:和歌山県紀の川市貴志川町神戸地先から紀の川との合流点まで、右岸:和歌山県紀の川市貴志川町井ノ口地先から紀の川との合流点まで)

□発表情報文、川の水位を知りたい方はこちら

川の防災情報 水位到達情報画面	https://www.river.go.jp/kwabou/pc/rw?rwtype=11&rwcd=8606601800
-----------------	---

□河川の氾濫危険度を知りたい方はこちら

水害リスクライン	https://frrl.river.go.jp/TopViewMain?header&areacd=86
----------	---

□氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら

浸水ナビ	https://sui boumap.gsi.go.jp/ShinsuiMap/Map/?x=135.3266667&y=34.2180556&z=13
------	---



川の防災情報 水位到達情報画面



水害リスクライン



浸水ナビ

問い合わせ先
国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 流域治水課 電話:073-424-2471

11-4 水防実施状況報告書

別紙様式

水防実施状況報告書

管理団体名								作成責任者	印			
水防活動実施の台風又は豪雨名								報告年月日	平成	年	月	日
場 所	右 川 岸 左 地先 m							所 人 件 費	管理団体分	県支出分	計	
	地区								出動手当	円	円	円
日 時	自 月 日 時 至 月 日 時							要 物 件 費	食 糧 費			
出 動 人 員	水防団員	消防団員	その他	計	そ の 他							
水防作業 の概況及 び工法								費	計			
	主要資材費											
水防の 結果	堤防	田	畑	家 棟 世帯	鉄道	道路	人	その他				
	効果 m	ha	ha	棟 世帯	m	m	人	計				
被害	m	ha	ha	棟 世帯	m	m	人					
他の団体よりの 応援出動状況								依			枚	
居住者出動状況								か ます			枚	
警察の援助状況								な わ			巻 m	
								丸 太			本	
現場指導者 公 吏 氏 名								立退きの状況及び それを指示した 理由				
水防関係 者の死傷								水防功労者の氏名、 年齢、所属及び 功績概要				
備 考								堤防その他の施設 の異常の有無及び 緊急工事を必要と するものが生じた 時は、その場所及 び損傷状況				
								水防活動に関する 自己批判				

- (注) 1. この報告書は各水防管理団体において作成すること。
2. 水防箇所ごとに作成すること。

別紙様式(付図)

令和〇〇年台風〇号における水防活動
(〇〇県〇〇市消防団・平成〇〇年〇月〇日～〇日)

○概要

〇〇市消防団は、令和〇〇年〇月〇日、台風〇号に伴う集中豪雨に際し、延べ〇部隊〇名が出動。市内では、1時間雨量100mmを超える豪雨により河川が増水。各地で越水により床上浸水等の被害を受ける危険な状況の中、堤防への土のう積みや住民の避難誘導、人命救助を行い人的被害軽減のため活動した。

活動時間	出動延人数	主な活動内容
〇/〇～〇/〇 約12時間	〇名	<ul style="list-style-type: none"> ・土のう積み(300袋) ・避難誘導(20世帯) ・排水作業(3件)

水防活動または
被害状況写真

〇〇川左岸(〇〇地先)
堤防巡視

水防活動または
被害状況写真

〇〇川左岸(〇〇地先)
積み土のう工

水防活動または
被害状況写真

〇〇川右岸(〇〇地先)
月の輪工

水防活動または
被害状況写真

〇〇地区の浸水被害

水防活動実施箇所
地図

11-5 水防協力団体指定申請書

紀の川市水防協力団体指定申請書

年 月 日

紀の川市水防管理者

紀の川市長 様

住 所

(事務所所在地)

団体の名称

代表者氏名

水防法第36条第1項及び紀の川市水防協力団体指定要領第4の規定に基づき、紀の川市水防協力団体の指定を受けたいので、別添「水防協力団体協力活動業務計画書」(別紙2)を添えて申請します。

11-6 水防協力団体協力活動業務計画書

水防協力団体協力活動業務計画書

下記の紀の川市の実施する水防活動に協力します。

記

※ご協力いただける項目の番号に○印を記入してください

- I 河川巡視、土のうの袋詰め及び運搬、避難支援などの消防団又は消防機関が行う水防上必要な監視、警戒その他の水防活動への協力（指定要領3-（1）関係）
- 1 災害時における土のうの袋詰めや運搬などの水防活動への支援
 - 2 災害時における小さな子供やお年寄りなどの災害時要援護者の救護
 - 3 災害時における住民に対する洪水注意報、警報などの情報の広報
 - 4 災害時における住民の避難誘導、避難所開設・運営への支援
- II 水防に必要な器具、資材又は設備の保管及びその提供（指定要領3-（2）関係）
具体的な資器材の種類・数量及び保管場所等
- []
- III 水防協力団体の業務や活動を含む水防に関する広報活動、水防に関する情報の収集及びその提供（指定要領3-（3）関係）
- 1 日常における河川管理施設や許可工作物の安全性の点検や巡視
 - 2 災害時における河川水位状況、雨量、強風状況などの情報連絡
- IV 水防に関する意識調査、実態調査等の水防に関する調査研究（指定要領3-（4）関係）
- 1 市が作成する洪水ハザードマップの配布
- V 講習会や研修会等の実施等の水防に関する知識の普及及び啓発（指定要領3-（5）関係）
- 1 実体験等に基づく、浸水箇所や危険箇所などの地域住民に対する水防知識の講習
- VI 水防意識の高揚を図るための自主的なパンフレットの作成、各種行事等の開催等（指定要領3-（6）関係）
- 1 消防団が開催する水防演習への参加
 - 2 住民の避難訓練の実施

◎その他ご協力いただける活動がありましたら内容をご記入ください。

[]

11-7 水防協力団体認定書

紀の川市水防協力団体認定書	
	年 月 日
住 所 (事務所所在地)	
団体の名称	
代 表 者	様
	紀の川市水防管理者 紀の川市長
<p>水防法第36条第1項及び紀の川市水防協力団体指定要領第4の規定に基づき、貴団体を紀の川市水防協力団体に指定します。</p>	

11-8 水防協力団体協力活動報告書

紀の川市水防協力団体協力活動報告書	
	年 月 日
紀の川市水防管理者	
紀の川市長	様
	住 所 (事務所所在地) 団体の名称 代表者氏名
<p>別紙のとおり水防活動を実施しましたので、紀の川市水防協力団体指定要領第6の規定に基づき提出します。</p>	

11-9 水防法の大規模事業所申出書

年 月 日	
(宛先) 紀の川市長 申出書 (新 規 ・ 変 更) 所 有 者 ・ 管 理 者 (共 同 で の 申 出 の 場 合 は 代 表 者) 住 所 施設の所有者名 又は管理者名 電話番号 担当 者 名 ()	
水防法第15条第1項のただし書き規定に基づき、紀の川市地域防災計画に名称及び所在地を定める大規模な工場その他の施設として申し出ます。	
施設の名称 (変更の場合は) (変更後の名称)	
施設の所在地 (変更の場合は) (変更後の所在地)	
施設の用途・規模 その他必要事項 (変更の場合は) (変更事項)	用 途 : 工 場 ・ 作 業 場 ・ 倉 庫 延 べ 面 積 : m ² その他必要事項 :
洪水予報等の伝達先 (※電話番号、FAX、) (担当者等)	
※ 受 付 印	※ 経 過 欄

備考

1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 ※欄は、記入しないこと。

※ 申出する者の住所、電話番号は、法人その他の団体にあつては、その名称、事務所又は事業所の所在地及び電話番号を記入すること。

11-10 避難確保計画・浸水防止計画作成報告書

(宛先) 紀の川市長 洪水時等避難確保計画・浸水防止計画作成(変更)報告書 所有者・管理者 (共同での報告の場合は代表者) 住所 施設の所有者名 又は管理者名 電話番号 担当者 ()	年 月 日
水防法第15条の(2・3・4)項の規定に基づき、別添のとおり洪水時等の避難確保計画・浸水防止計画作成(変更)したので報告します。	
施設の名称 (変更の場合は 変更後の名称)	
施設の所在地	
施設の用途 その他必要事項 (変更の場合は 主要な変更事項)	
洪水予報等の伝達先 (※電話番号、FAX、 担当者等)	
※ 受 付 印	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 ※欄は、記入しないこと。
 - 3 「避難確保計画」「浸水防止計画」のうち、報告しないものは消すこと。
- ※ 報告する者の住所、電話番号は、法人その他の団体にあつては、その名称、事務所又は事業所の所在地及び電話番号を記入すること。

11-12 申出の取下げ届出書

(宛先) 紀の川市長 申出の取下げ届出書 所有者・管理者 (共同の場合は代表者) 住所 施設の所有者名 又は管理者名 電話番号	年 月 日 担当者 ()
紀の川市地域防災計画に定める大規模工場その他の施設として申出していた事項について、申出を下記の理由により取下げます。	
施設の名称	
施設の所在地	
申出を取り下げる理由	
※ 受 付 印	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 ※欄は、記入しないこと。
- ※ 届出する者の住所、電話番号は、法人その他の団体にあつては、その名称、事務所又は事業所の所在地及び電話番号を記入すること。

13 受援計画

13-1 受援管理シート

【受援管理シート】

基礎情報

受援業務名		受援期間 (予定)	
各課受援 窓口担当	組織名		職・氏名
受援業務担当	組織名		職・氏名

業務分担		業務内容
紀の川市 職員	応援 職員	

①【応援必要数等報告】 各課受援窓口担当から受援班へ

		報告日時
必要人員数及び期間	備考（人数内訳、要件、資機材、集合場所等）	

②【要請先との調整結果伝達】 受援班から各課受援窓口担当へ

			報告日時
応援可能数	応援団体	期間	備考

③【応援受入報告】 各課受援窓口担当から受援班へ

		報告日時
応援受入数	応援団体	備考

13-2 人的応援要請・受入報告書

【人的応援要請・受入報告書】

報告者

受援課名	
窓口担当者	

報告先（人的受援調整班）



担当者名	
------	--

①【要請内容報告】 各課受援窓口担当から受援班へ

		報告日時	
要請日時			
要請先	団体名		
	連絡窓口	所属	
		職・氏名	
		連絡先	
根拠			
要請方法（文書の場合は写しを添付）			
要請内容	業務名		
	活動場所		
	要件		
	人員数		
	派遣期間		
	その他		

②【応援受入報告】 各課受援窓口担当から人的受援調整班へ

		報告日時	
受入日時			
受入人員			
その他			